2018年度　追手門学院大学大学院心理学研究科シンポジウム

|  |
| --- |
| 心理職としての今・これから〜公認心理師資格を機会に心理職のこれまでと未来を考える〜 |

2018年9月、初めての公認心理師試験が行われ、いよいよ国家資格としての心理師が誕生することになりました。これまで以上に多くの領域で心理の専門家が働くことになります。一方、公認心理師資格が生まれるずっと以前から、現場では、たくさんの心理の専門家が様々な領域で多くの人たちと関わってきました。単なる資格取得云々ではなく、この時期だからこそ、私たちが何を大事にしていく必要があるのかを考えたいと思います。

今回、医療・教育・福祉・司法・産業の5領域から、心理職として現場で活躍しておられる先生方をお呼びして、あらためて「心理の専門家として働くこと」について考えを深めてみたいと思います。

|  |
| --- |
| 【参加シンポジスト】医療；加藤宏明 先生（医療法人 有希クリニック）教育：浅井紀久子 先生（青少年自立支援施設 淡路プラッツ）福祉：益田啓裕 先生（社会福祉法人 あゆみの丘）司法：川田幸司 先生（京都少年鑑別所）産業；近藤祐子 先生（Crossing） |

|  |
| --- |
| 【日時＆場所】2019年2月7日（木）　13時20分〜15時20分追手門学院大学　5202教室 |

【問い合わせ先】

追手門学院大学心理学研究科　担当　永野浩二

E-mail : koji18@otemon.ac.jp

電話：072-641-9178（研究室直通）

　入場無料・申し込み不要。どなたでもご参加可能です。